

社会福祉協力校実践報告

騎西町立田ヶ谷小学校

一 はじめに

本校では、学校教育目標の一つである「心豊かで思いやりのある子」を育てるために福祉教育に取り組んでいる。その大きなねらいは、多くの福祉体験や活動を通して、子ども達の心を育てるところにあると考える。

二 活動内容の紹介

そこで、本校のささやかな取り組みではあるが、次にその一端を述べる。

① 社会福祉施設との交流

本校の南五百メートルの場所に、多賀谷寿光園と虹の里という老人ホームが開設している。学校は大変近いこともあり、六年ほど前から福祉教育の一環として、交流活動が



▶ 寿光園での交流活動



三年生 「おじいちゃんおばあちゃんと遊ぼう」

スタートする。

各学年毎に子ども達は、おじいちゃんおばあちゃんと、歌や遊戯やお話等を通して、ふれ合いを持っている。三世代同居の家庭が少なくなってきた現代では、高齢者とのように接するのがよいかかわらない子どもが増えている。年一度ではあるが、六年間の交流を通して、高齢者と自然に接することの大切さを学んでいる。

② 総合的な学習の時間の取り組み

・三年生
「おじいちゃんおばあちゃん

んと遊ぼう」と題して、昔の遊びを一緒に楽しんでいる。

・四年生

「障害を持った人やお年寄りからのパワーをもらおう」と題して、ともに共生することの大切さを学んでいる。

・六年生

「社会に自分を生かそう」と題して、アイマスクや車いすや高齢者の体験を通して、自分にできることは何かを学んでいる。

③ 運動会での高齢者の招待

招待状を書き、玉入れや騎西音頭等と一緒にに行い、交流を深めている。

三 終わりに

多くの体験活動を通して子



▶ 目の不自由な人の体験

ども達は、相手の立場を尊重し温かい心で接することの大切さや、社会のために奉仕し共に生きることの必要性を知ることになる。このことが、生命の尊重や豊かな心を持った子ども達を育てることになる。



社会福祉協議会評議員 一部変更

氏名	選出区分
渡辺 良市	区長会